



SYNESIS バージョン 8.5 リリースノート

2024-10-08

Version 8.5.3

アップグレード

現在のバージョン毎のアップグレード方式は以下となります。

- Version 6.5 ~ 8.5.2: Version 8.5.3 のアップグレードパッケージを適用
- Version 6.0 以前: Version 8.5.3 リカバリメディアによるシステムリカバリ

アップグレード方法はバージョン 8.5.1 と同じです。バージョン 8.5.1 リリースノート「アップグレード」の記載を参照ください。

アップグレード適用可能モデル

SYNESIS Portable		SYNESIS Distributed	
SYS-2G-EP3	SYS-50G-HPP	SYS-2G-ER2	SYS-8G2-HCR
SYS-2G-EP4	SYS-80G2-HPP3	SYS-2G-ER3	SYS-10G-ER2
SYS-4G-HPP3	SYS-100G-HPP2B	SYS-2G-ER3T	SYS-10G-ER3
SYS-10G-EP2	SYS-100G-HPP3	SYS-2G-R	SYS-20G-HPR3
SYS-10G-EP3	SYS-200G-HPP2	SYS-4G-R	SYS-40G-HPR3
SYS-20G-HPP3		SYS-4G-R2	SYS-80G2-HPR3
SYS-20G-HPRP		SYS-4G-R3	SYS-100G-HPR3
SYS-40G-HPP2		SYS-4G-R3T	

新規製造可能 P/N

Control Unit P/N			Capture Module P/N	
SYxB-2GP3	SYxB-50GP2	SYxB-10GR2-C (*1)	SYxC-1G4N1-HP	SYxC-10G4N1-HP
SYxB-4GP2	SYxB-100GP4	SYxB-10GR2	SYxC-1G4N1-LE	SYxC-10G4N1-LE
SYxB-10GP3	SYxB-200GP3	SYxB-10GR3	SYxC-1G4N2-HP	SYxC-10G4N2-HP
SYxB-20GP1-R10	SYxB-2GR2-C	SYxB-10GR3-T	SYxC-1G4I1-LE	SYxC-25G2N1-HPL
SYxB-20GP2	SYxB-2GR2-CT	SYxB-20GR2 (*1)	SYxC-1G2N1-HPL	SYxC-25G4N1-HP
SYxB-20GP3	SYxB-8GR1-C (*1)	SYxB-20GR3 (*1)	SYxC-10G2N1-HP	SYxC-100G2N2-HP
SYxB-20GP3-2D	SYxB-8GR2-C (*1)		SYxC-10G2N1-LE	
SYxB-40GP2				

(*1) External Storage を増設可能です。

新機能

- 1) 機種乗り換えやリカバリ前後で使用する、SYNESIS システム全体をバックアップ・リストアするツールをサポートしました。
[#27367]
- 2) 構成画面のいくつかの項目やキャプチャオプションのハードウェアフィルタ等で、設定をエクスポート・インポートする機能を追加しました。[#27365]

修正した不具合

- 1) ソフトウェアフィルタのパターンフィルタにおいて、「開始位置」として「フレームの先頭」以外を指定した場合でも、フレームの先頭を起点としてしまう不具合を修正しました。[#28338]
✧ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生していました。
- 2) Syslog ファイルが正しくローテーションされない不具合を修正しました。[#28819]

このバージョンで追加された制限事項

- 1) アダプタ SYxC-1G4I1-LE を使用した SYNESIS において Feed Service を使用して scap 形式でパケットを読みだした場合、パケットフォーマットが不正になります。アダプタ SYxC-1G4I1-LE を使用した SYNESIS で Feed Service を利用する際は、scap 形式以外でパケットを読みだしてください。

2024-05-31 Version 8.5.2

アップグレード

モデル・現在のバージョン毎のアップグレード方式は以下となります。

モデル \ 現在のバージョン	Version 6.5 ~ 8.0, 8.5.1	Version 6.0 以前
SYS-2G-EP3, SYS-4G-HPP3, SYS-10G-EP2, SYS-20G-HPP3, SYS-20G-HPRP, SYS-40G-HPP2	Version 8.5.2 のアップグレードパッケージを適用	Version 8.0.4 リカバリメディアによるシステムリカバリ後、Version 8.5.2 のアップグレードパッケージを適用
上記以外	同上	Version 8.5.2 リカバリメディアによるシステムリカバリ

アップグレード方法およびアップグレード適用可能モデルはバージョン 8.5.1 と同じです。バージョン 8.5.1 リリースノート「アップグレード」、「アップグレード適用可能モデル」の記載を参照ください。

新規製造可能 P/N

Control Unit P/N			Capture Module P/N	
SYxB-2GP3	SYxB-100GP4	SYxB-10GR2	SYxC-1G4N1-HP	SYxC-10G4N1-HP
SYxB-4GP2	SYxB-200GP3	SYxB-10GR2-C (*1)	SYxC-1G4N1-LE	SYxC-10G4N1-LE
SYxB-10GP3	SYxB-2GR1-C	SYxB-10GR3	SYxC-1G4N2-HP	SYxC-10G4N2-HP
SYxB-20GP2	SYxB-2GR2-C	SYxB-10GR3-T	SYxC-1G4I1-LE	SYxC-25G2N1-HPL
SYxB-20GP1-R10	SYxB-2GR2-CT	SYxB-20GR2 (*1)	SYxC-1G2N1-HPL	SYxC-25G4N1-HP
SYxB-40GP2	SYxB-8GR1-C (*1)	SYxB-20GR3 (*1)	SYxC-10G2N1-HP	SYxC-100G2N2-HP
SYxB-50GP2	SYxB-8GR2-C (*1)		SYxC-10G2N1-LE	

(*2) External Storage を増設可能です。

新機能

- 1) ソフトウェアフィルタのフローフィルタで、複数の IP アドレスを指定することが可能になりました。[#25977]
- 2) APM/NPM 画面で表示するアドレス情報として、ドメイン名ではなく IP アドレスをそのまま表示することを選択できるようになりました。[#25831]
- 3) ファイルシステムのマウントに異常がある場合、SYNESIS GUI サインイン時にダイアログにて通知するようになりました。[#26064]
- 4) システムリカバリ失敗時にログを取得することが可能になりました。[#26065]

Version 8.5.1 からの仕様変更

- 1) REST APIv2 "GET /stats" API のレスポンスに、回線使用率(utilization)を追加しました。[#27622]

修正した不具合

- 1) SYNESIS GUI や REST API で HTTPS 通信をする場合、パケットの HTTP ヘッダに不正なフィールド (includeSuvDomains) が付加されていたのを、正しいフィールド(includeSubDomains)を付加するように修正しました。[#28070]
◇ 本不具合はバージョン 4.0 以降で発生していました。
- 2) 古い解析結果を削除する delete-outdated-data コマンドが実行できない場合がある不具合を修正しました。[#27982]
◇ 本不具合はバージョン 4.9 以降で発生していました。
- 3) SIP Register 解析で、SIP Register パケットの To フィールドにセミコロン(;)を含む場合に正しく電話番号を抽出できない不具合を修正しました。[#28137]
◇ 本不具合はバージョン 8.5.1 で発生していました。
- 4) 各種アラートによる通知(Syslog, SNMP Trap, E-mail)が頻発する場合、まれに GUI による画面表示が異常になる不具合を修正しました。[#27858]
◇ 本不具合はバージョン 3.0 以降で発生していました。
- 5) キャプチャセッションの数が多い場合に、GUI や REST API でのトレースファイル保存要求に対するレスポンスが遅くなる不具合を修正しました。[#27812]
◇ 本不具合はバージョン 3.0 以降で発生していました。

- 6) SYNESIS GUI で 1ms 未満の時間範囲のトレースファイル生成ができない不具合を修正しました。[#27548]
 ✧ 本不具合はバージョン 3.0 以降で発生していました。

このバージョンで追加された制限事項

- 1) キャプチャ中に SYNESIS OS に直接 GUI でログインするかまたはリモートデスクトップ機能でログインして、さらにデスクトップ上で何らかのオペレーションを実施すると、パケットドロップが発生することがあります。[#27221]
 ✧ キャプチャモジュール SYxC-1G4I1-LE を使用する場合にのみ発生します。
- 2) 以下の Control Unit を使用している SYNESIS では、ストレージ関連のログが取得できません。
 ✧ SYxB-10GR2-C
 ✧ SYxB-20GR3
- 3) 以下の Capture Module を使用している SYNESIS では、NPB タイムスタンプを活用できません。
 ✧ SYxC-1G4I1-LE

2023-11-30 Version 8.5.1

2023-12-13: Version 8.0 からの仕様変更に 2) REST APIv1 のサポート終了を追加

2023-12-14: モデル・現在のバージョン毎のアップグレード方式を追加

2024-02-27: Version8.0 からの仕様変更に 3)を追加

2024-02-27: このバージョンで追加された既知の不具合および制限事項に 3)を追加

アップグレード

2 種類のアップグレード方法、アップグレードパッケージとリカバリメディアを提供します。

	アップグレードパッケージ	リカバリメディア
操作	下記 2 種類のパッケージをこの順で適用します 1. 拡張アップグレードパッケージ 2. SYNESIS V8.5 パッケージ	システムリカバリを実施します
所要時間	60~90 分	90~120 分
既存のデータと設定	引き継がれます	失われます
適用可能バージョン	V6.5.1 以降	全バージョン
適用可能モデル	次章に示すモデルです	

モデル・現在のバージョン毎のアップグレード方式は以下となります。

現在のバージョン モデル	Version 6.5 ~ 8.0	Version 6.0 以前
SYS-2G-EP3, SYS-4G-HPP3, SYS-10G-EP2, SYS-20G-HPP3, SYS-20G-HPRP, SYS-40G-HPP2	Version 8.5.1 のアップグレードパッケージを適用	Version 8.0.4 リカバリメディアによるシステムリカバリ後、Version 8.5.1 のアップグレードパッケージを適用
上記以外	同上	Version 8.5.1 リカバリメディアによるシステムリカバリ

アップグレード適用可能モデル

SYNESIS Portable		SYNESIS Distributed	
SYS-2G-EP3	SYS-50G-HPP	SYS-2G-ER2	SYS-10G-ER2
SYS-4G-HPP3	SYS-80G2-HPP3	SYS-4G-R	SYS-20G-HPR3
SYS-10G-EP2	SYS-100G-HPP2B	SYS-4G-R2	SYS-40G-HPR3
SYS-20G-HPP3	SYS-100G-HPP3	SYS-4G-R3	SYS-80G2-HPR3
SYS-20G-HPRP	SYS-200G-HPP2	SYS-8G2-HCR	SYS-100G-HPR3
SYS-40G-HPP2			

新規製造可能 P/N

Control Unit P/N			Capture Module P/N	
SYxB-2GP3	SYxB-100GP4	SYxB-10GR2	SYxC-1G4N1-HP	SYxC-10G4N1-HP
SYxB-4GP2	SYxB-200GP3	SYxB-10GR3	SYxC-1G4N1-LE	SYxC-10G4N1-LE
SYxB-10GP3	SYxB-2GR1-C	SYxB-10GR3-T	SYxC-1G4N2-HP	SYxC-10G4N2-HP
SYxB-20GP2	SYxB-2GR2-C	SYxB-20GR2 (*1)	SYxC-1G4I1-LE	SYxC-25G2N1-HPL
SYxB-20GP1-R10	SYxB-2GR2-CT		SYxC-1G2N1-HPL	SYxC-25G4N1-HP
SYxB-40GP2	SYxB-8GR1-C (*1)		SYxC-10G2N1-HP	SYxC-100G2N2-HP
SYxB-50GP2	SYxB-8GR2-C (*1)		SYxC-10G2N1-LE	

(*3) External Storage を増設可能です。

新機能

- 1) サポートする NPB タイムスタンプとして、Gigamon トレーラを追加しました。[#25050]
- 2) REST APIv2 にユーザ関連 API、統計情報関連 API、SIP レジスタ解析関連 API を追加しました。[#25729]
- 3) CLI によるログ収集機能をサポートしました。[#24450]
- 4) SYNESIS GUI のチャンネルアイコンをクリックしたときに表示するチャンネル状態ダイアログに、以下機能を追加しました。
[#25005]
 - チャンネル毎のアダプタ名表示
 - ボタンをクリックすることで Management Console のアダプタプロフィール画面を表示

Version 8.0 からの仕様変更

- 1) トレースファイルの保存を要求後まだ保存動作が開始されていない状態として「待機中」を追加しました。当状態を GUI では「待機中」、REST APIv2 では「Waiting」と表現します。[#25903]
- 2) Version8.0 を最後に REST APIv1 のサポートを終了しました。
 - サポートは終了しましたが、引き続き REST APIv1 を使用することは可能です。
 - 新規に REST API を利用する場合は、REST APIv2 を使用ください。
- 3) アダプタ SYxC-25G4N1-HP を使用している SYNESIS において、パフォーマンスモードによるパケットリプレイが可能となりました。
- 4) SYNESIS ログのファイル名を synesis_dump.zip に変更しました。

修正した不具合

- 1) リモートデスクトップと本体画面で同時に SYNESIS OS にログインすると、画面が操作不能になることがある不具合を修正しました。また、SYNESIS OS からログアウトした後も、まれに同現象が発生することが判明したため合わせて修正しました。[#25510]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生していました。
- 2) SIP Register 解析処理において、解析対象の SIP Register Response パケットに「@」:「;」のいずれの文字も含まない To フィールドが存在すると、解析モジュールがハングアップする不具合を修正しました。[#27006]
 - ◇ 本不具合はバージョン 3.7 以降で発生していました。
- 3) SYNESIS GUI においてアダプタ SYxC-1G2N1-HPL のアダプタ名が「Synesis Adapter NT 10Gbps/1Gbps x2」と誤って表記される不具合を修正しました。[#26488]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生していました。
- 4) NPM 解析結果のフロー情報を CSV ファイルで保存した際に各種ビットレートの値が誤って Kbps 単位になっていたのを bps 単位に修正しました。[#27202]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.5 より前のすべてのバージョンで発生していました。
- 5) ソフトウェアフィルタの VoIP フィルタで、遡り DNS 抽出処理による DNS パケットが多重抽出される不具合を修正しました。[#26278]
 - ◇ 本不具合はバージョン 6.0 以降で発生していました。
- 6) REST API 2.0 を使用してソフトウェアフィルタまたはハードウェアフィルタを連続して作成した場合に、2 回目以降のフィルタ作成に失敗することがある問題を修正しました。[#26241]
 - ◇ 本不具合はバージョン 6.0 以降で発生していました。

このバージョンで追加された既知の不具合および制限事項

- 1) アダプタ SYxC-100G2N2-HP を使用している SYNESIS において、アダプタプロファイルのリンク速度と一致しないトランシーバを装着したまま OS 再起動やアダプタプロファイルの変更をした場合、SYNESIS の機能が停止します。[#26888]
 - ◇ 本不具合はバージョン 5.0 以降で発生します。
 - ◇ アダプタプロファイルの変更をする前に装着されているトランシーバを外すことで本不具合を回避できます。
 - ◇ 本不具合が発生した場合は、トランシーバを外した後に OS を再起動してください。
- 2) アダプタ SYxC-100G2N2-HP のポート 0 のリンクがアップしたときに、ポート 1 側の LED が点灯します。
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生します。
- 3) コントローラユニット SYxB-200GP3 を使用している SYNESIS において、ワイヤレートに近いレートでパケットを受信している状態でキャプチャを開始した際に、開始直後の数秒間に限って少量のパケットドロップが発生する可能性があります。
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生します。